

問1 香取市佐原の歴史的景観が形成された背景として、地理的な条件と歴史的な背景を組み合わせた説明として正しいものはどれですか。 (2025年 埼玉県公立入試 類似)

1. 広大な平野を活用した大規模な稲作を推奨するため、幕府が農民の居住区として計画的に建設した集落である。
2. 急峻な山々に囲まれた要害の地であったため、戦国時代の城郭建築を中心とした都市景観がそのまま残された。
3. 利根川下流の小野川沿いに位置し、江戸時代に物資を運ぶ舟運の拠点として発展したため、商人たちの活気ある町並みが作られた。
4. 明治時代以降に海外貿易の拠点として開港されたため、西洋風のレンガ造りの建物が並ぶ港町として発展した。

問2 東京都の工業出荷額の内訳をまとめた資料では、輸送用機械に次いで、印刷業が13.1%、情報通信機械が10.4%、電気機械が7.5%を占めるという特徴があります。このように、巨大な消費地や情報の中心地であるという立地条件を活かした工業の形態を何と呼びますか。 (2017年 愛知県公立入試 類似)

1. 重化学工業
2. 都市型工業
3. 地場産業
4. 先端技術産業

問3 首都圏の外縁部に位置する茨城県では、近年、人口増減率がマイナス0.59パーセントを記録し、高齢者割合も約30パーセントに達するなど、人口減少が進行しています。このように死亡者数が出生者数を上回ることによって生じる人口の減少を何と言いますか。 (2021年 徳島県公立入試 類似)

1. 自然減
2. 社会減
3. 社会増
4. 自然増

問4 東京都における渋谷区のような都心部と、八王子市のような郊外の状況を比較したとき、郊外で人口が増加する主な要因を説明したものとして最も適切なものはどれですか。なお、都心部は地価が極めて高く推移しており、郊外は地価が低く安定しているものとします。 (2021年 群馬県公立入試 類似)

1. 都心部と比較して郊外は地価が高いため、資産価値を求める人々が流入しやすいから。
2. 都心部は郊外よりも利便性が低いから、地価に関わらず人々が郊外へ避難するから。
3. 都心部と郊外では地価に差がないが、郊外の方が大規模な商業施設が多いから。
4. 都心部と比較して郊外は地価が安いから、住宅を求める人々が流入しやすいから。

問5 関東地方の北部に位置し、新潟県や長野県といった中部地方の県と境を接している「群馬県」について、その県庁所在地名として正しいものを次のうちから選びなさい。 (2019年 福岡県公立入試 類似)

1. 高崎市
2. 水戸市
3. 宇都宮市
4. 前橋市

問6 東京23区への通勤・通学者の交通手段について、鉄道利用率が全国平均の2倍以上という極めて高い水準にある現状を踏まえ、大規模災害時に「帰宅困難者」が大きな社会問題となる理由として最も適切な説明はどれですか。 (2019年 岩手県公立入試 類似)

1. 多くの人々が居住地から離れた場所に集まっており、鉄道の停止によって長距離の移動手段を失うため
2. 自家用車を利用して通勤・通学者が多いから、道路が渋滞して救急車両の通行を妨げるため
3. 都市部への流入人口が年々減少しており、災害時に救助活動を行う人手が不足するため
4. 郊外の公共交通機関が発達していないから、避難所から自宅へ戻る方法がなくなるため

問7 千葉県は、京葉工業地域を中心とした製造業が盛んな一方で、農業も非常に活発です。特に野菜の産出額が全国的に高い水準にあります。このように大消費地である都市の周辺で行われる、新鮮さが求められる野菜などを生産する農業の形態を何と呼びますか。 (2024年 新潟県公立入試 類似)

1. 促成栽培
2. 近郊農業
3. 抑制栽培
4. 適地適作

問8 関東地方の各県を比較した統計データにおいて、千葉県は「飲食品の小売販売額」では神奈川県や埼玉県を下回るものの、「化学工業製品出荷額」ではこれらの県を大きく上回り、突出した数値を示す特徴があります。このような結果になる理由として、最も適切な説明はどれか。 (2016年 長崎県公立入試 類似)

1. 飲食品の販売額は人口規模に比例する傾向があるが、千葉県は東京湾岸に石油化学コンビナートが集中する京葉工業地域を有しているため。
2. 神奈川県や埼玉県は製造業からサービス業への転換が進んだ一方で、千葉県は県内全域で伝統的な重工業の維持を最優先する政策をとっているため。
3. 千葉県は成田国際空港を通じた貿易額が多いから、内陸部の工場で生産された化学製品の出荷額が統計上、他県よりも多く計上されるため。
4. 千葉県は近郊農業が盛んであることから、農産物を原料としたバイオテクノロジー産業が化学工業製品として分類され、出荷額を押し上げているため。

問9 関東地方の群馬県や栃木県などの内陸部では、自動車工業や機械工業といった「内陸型工業」が大きく発展しています。このように、内陸部において工業が発達した背景にある、交通網の整備に関する理由として最も適切なものはどれですか。 (2021年 奈良県公立入試 類似)

1. 高速道路網の整備が進んだことで、生産した製品を消費地や港へ効率的に輸送できるようになったため。
2. 新幹線の駅が各地に設置されたことで、工場の従業員が都市部から短時間で通勤できるようになったため。
3. 大型の貨物船が接岸できる掘込港が整備され、海外から輸入した原料を直接工場へ運び込めるようになったため。
4. 鉄道の貨物専用線が各工場に引き込まれ、重量のある原材料を一度に大量に輸送することが可能になったため。

問10 関東地方の北西部に位置し、長野県や新潟県といった中部地方の県と境界を接している内陸の県を選びなさい。 (2016年 秋田県公立入試 類似)

1. 埼玉県
2. 栃木県
3. 茨城県
4. 群馬県

問11 日本の大都市圏における人口動態を分析した際、千代田区などの東京都心部で見られる特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)

1. 都心から郊外へ向かう通勤・通学者が多いため、昼間人口が夜間人口を下回っている。
2. さいたま新都心のように都市機能の分散が進んだため、昼間人口と夜間人口がほぼ等しい。
3. ドーナツ化現象が完全に解消された結果、夜間人口が昼間人口を上回ることになった。
4. 昼間人口を夜間人口で割って算出される数値が、100%を大きく超えている。

問12 千葉県の東京湾沿いの地域には、石油・石炭製品を扱う大規模な工場が集中しています。このような工場が、内陸部ではなく特に臨海部に立地している理由として最も適切な説明を次から選びなさい。 (2021年 福岡県公立入試 類似)

1. 製品を消費地である東京都心へ、船を使って短時間で運搬するため。
2. 工場から出る排気ガスによる大気汚染の影響を、海風で最小限に抑えるため。
3. 大規模な工場用地が確保しやすいから、原料の輸入に便利だから。
4. 冷却水として大量の真水を確保するため、大きな河川の河口付近が選ばれたから。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 利根川下流の小野川沿いに位置し、江戸時代に物資を運ぶ舟運の拠点として発展したため、商人たちの活気ある町並みが作られた。	佐原が「北総の小江戸」と呼ばれるほど発展したのは、利根川を利用した舟運（水上輸送）の要衝だったからです。周辺で収穫された米や特産品を江戸へ運ぶため、中継地点である小野川沿いに多くの問屋や蔵が建てられました。このような水運との深い関わりが、川に面して建物が並び独特の歴史的景観を生み出す要因となりました。
問2	答え 2 都市型工業	東京都は人口が極めて多い大消費地であり、出版社や報道機関、企業の本社などが集中しています。そのため、情報の伝達に必要な印刷物や、情報通信機器、電気機械といった、消費者のニーズに素早く対応する必要がある製品の製造が盛んです。このような大都市特有の背景を持った工業を都市型工業といいます。
問3	答え 1 自然減	茨城県では、出生者数よりも死亡者数が多い状態である「自然減」が人口減少の主な要因となっています。進学や就職による転出・転入の差を指す「社会増減」に対し、出生・死亡の差を「自然増減」と呼び、現在の日本各地でこの自然減による人口減少が課題となっています。
問4	答え 4 都心部と比較して郊外は地価が安い ため、住宅を求める人々が流入しやすいから。	都市の人口移動には地価が大きく関わっています。都心部（渋谷区など）は利便性が高い一方で地価が極めて高いため、一般の世帯が住宅を取得することが困難です。そのため、都心部と比較して地価が安い郊外（八王子市など）に住宅を求める人々が流入し、結果として郊外の人口が増加する要因となります。このように、地価の差は居住地の選択において決定的な役割を果たします。
問5	答え 4 前橋市	群馬県は関東地方の北西部に位置しており、県名と県庁所在地名が異なる県の一つです。栃木県の県庁所在地である宇都宮市や、茨城県の県庁所在地である水戸市と混同しないよう注意が必要です。高崎市は群馬県内の主要都市ですが、県庁所在地ではありません。
問6	答え 1 多くの人が居住地から離れた場所に集まっており、鉄道の停止によって長距離の移動手段を失うため	東京23区には周辺の神奈川・千葉・埼玉各県から膨大な数の人々が流入していますが、その多くが鉄道を移動手段としています。地震などで鉄道が止まった際、数10km離れた自宅まで徒歩で帰ることは困難であり、無理に帰宅を試みる人が道路に溢れると救助活動の妨げにもなるため、一時的な待機施設の確保などの対策が進められています。
問7	答え 2 近郊農業	都市の周辺で、市場に近い立地条件を活かして野菜や花などを生産する農業を近郊農業と呼びます。千葉県は巨大な消費地である東京都に隣接しているため、輸送費を抑えながら鮮度の高い農産物を出荷できる強みがあります。これに対し、促成栽培や抑制栽培は、出荷時期をずらす工夫をする栽培方法を指します。
問8	答え 1 飲食品の販売額は人口規模に比例する傾向があるが、千葉県は東京湾岸に石油化学コンビナートが集中する京葉工業地域を有しているため。	飲食品の小売販売額は、その地域の消費市場の大きさ（人口規模）に比例するため、人口の多い神奈川県や埼玉県が千葉県を上回ります。一方で、工業面では千葉県の東京湾岸に京葉工業地域が形成されており、国内最大級の石油化学コンビナートが集積していることから、化学工業製品の出荷額が関東地方の中で際立って高いという産業構造上の特色が生じています。
問9	答え 1 高速道路網の整備が進んだことで、生産した製品を消費地や港へ効率的に輸送できるようになったため。	自動車工業や電子機器工業などの加工組立型工業は、原材料の重さよりも、完成した製品をいかに早く、計画的に市場へ届けるかが重要視されます。群馬県太田市などの関東内陸部では、北関東自動車道や関越自動車道といった高速道路網の整備により、東京などの大消費地や輸出拠点となる港へのアクセスが飛躍的に向上しました。これにより、トラックを用いた「効率的」な「輸送」が可能となり、内陸部での工業発展に繋がりました。
問10	答え 4 群馬県	関東地方には海に面していない内陸県が3つありますが、その中で最も北西に位置し、信越地方（長野県・新潟県）と隣接しているのが群馬県です。利根川の源流域にあたり、県域の多くを山地が占めているのが地理的な特徴です。
問11	答え 4 昼間人口を夜間人口で割って算出される数値が、100%を大きく超えている。	昼夜間人口比率は「（昼間人口÷夜間人口）×100」で算出されます。都心部では通勤・通学による流入人口が多いため、分母となる夜間（居住）人口よりも分子となる昼間人口が圧倒的に大きくなり、比率は100%を大幅に超えます。逆に、住宅地である郊外の都市では、都心へ人が流出するため、この比率は100%を下回る傾向にあります。
問12	答え 3 大規模な工場用地が確保しやすく、原料の輸入に便利だから。	石油・石炭製品の製造には広大な敷地が必要です。千葉県の臨海部は大規模な埋め立てによってその用地を確保してきました。また、日本は石油資源のほとんどを海外に依存しているため、原料を運ぶ大型船が直接接岸できる臨海部は、原料の輸入に便利であるという決定的な利点があります。このような背景から、京葉工業地域では化学工業や石油・石炭製品の割合が高くなっています。